

# 横須賀市中小企業景況レポート

第 35 号 (令和 3 年 7 月号)

編集・発行：横須賀市経済部経済企画課  
〒238-8550 横須賀市小川町 11  
電話 046-822-9523

市内中小企業の景況感を調査しました。

調査対象は、かながわ信用金庫と湘南信用金庫が従来から行っている景況調査先のうちの市内企業に加え、横須賀市及び横須賀市産業振興財団がさらに追加調査しました。

3か月に1回発行しています。

【市ホームページ（下記）からもご覧いただけます。】

[横須賀市中小企業景況レポート | 横須賀市](#)

<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4402/keikyoreport/yokosukasikeikyuripoto.html>

- ① 調査対象：市内中小企業
- ② 調査企業数：173社（うち、かながわ信用金庫+湘南信用金庫 調査159社）
- ③ 調査期間：前期・・・令和3年1～3月の景況感（調査時点 令和3年3月1日）  
                    **今期・・・令和3年4～6月の景況感（調査時点 令和3年6月1日）**  
                    次期・・・令和3年7～9月の景況感（調査時点                      "                      ）
- ④ 調査項目：景況、売上額、収益、雇用人員、資金繰り
- ⑤ 業種分類：製造業、建設業、卸・小売業、不動産業、サービス業
- ⑥ 集計方法：DI値算出による（次ページにDI値の説明あり）

## 景況及び4項目の調査結果（全業種）

\*DI値調査結果は裏面に記載

\*【 】は今期のDI値を記載

**全業種の景況感は、前期の△36Pから12P改善し、【△24P】となりました。**

今期の景況感は、不動産業【△13P】、サービス業【△34P】がそれぞれ34P、23Pと大幅に改善したものの、依然厳しい状況が続いています。

項目別では、売上額【△21P】が13P改善しましたが、他の項目は、横這いの状況です。

新型コロナウイルス感染症の影響が出始めた昨年同期（令和2年4月～6月）との景況感比較は、「悪い」が4割を占めており、引き続き厳しい状態にあります。前期構成比【「悪い」52%】と比べるとやや持ち直しています。

DI 値・・・良い（多い）、変わらない（普通）、悪い（少ない）の回答のそれぞれが全体に占める構成比を求めます。次に、良い（多い）等の構成比（%）－悪い（少ない）等の構成比（%）を計算した値が DI 値となります。プラス値が大きいほど景況感が良く（好況）、マイナス値が大きいほど景況感が悪い（不況）と言えます。

このレポートは次の基準で景況感を分類しました。（マイナスは△表示）

良い (15P 以上)	やや良い (6P~14P)	変わらない (△5P~5P)	やや悪い (△6P~△14P)	悪い (△15P 以下)
↑	↗	→	↘	↓

## 業種別 調査結果と事業者の声

\*DI 値調査結果は裏面に記載

\*【 】は今期の DI 値を記載

### (1) 製造業 景況感 【△24P <悪い> ↓】 (前期比6P)

前期と比べ全ての項目で横這いの状況ですが、依然として厳しい状況が続いています。次期は、売上額と収益が改善する見込みです。

#### ☆事業者の主な声☆

- ・前年は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、大幅に売上減少となっていたが、今期は、受注も回復傾向にある。
- ・今期は、コロナ禍の巣ごもりで需要が増加した電化製品や機械に、当社の加工している部品が使用されていることから受注が例年に比べ増加した。

### (2) 建設業 景況感 【△28P <悪い> ↓】 (前期比△2P)

厳しい状況が続く中、前期と比べ資金繰り【△25P】が、さらに11P悪化しました。次期は、売上額と収益が改善する見込みですが、雇用人員は悪化する見込みです。

#### ☆事業者の主な声☆

- ・昨年と比べれば良くなっていると思う。コロナ禍の巣ごもりで家に関心が高まり、相談等は増えている。
- ・昨年同時期は、コロナ禍の影響による工事現場の休止等で売上減少していたが、現在は、ほぼ影響はない。販路拡大に向け、取り組んでいる。

**(3) 卸・小売業 景況感 【 △19P <悪い> ↓ 】 (前期比 10P)**

前期と比べ売上額【△15P】が12P改善しましたが、依然厳しい状況が続いています。次期は、資金繰りが悪化し、その他の項目は横這いの見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・売り上げは、回復傾向にあるものの、現在も新型コロナウイルス感染症の蔓延影響が続いており、コロナ前と比較すれば減少している。今後についても不安定な状況が続くことが予想され、各取引先からの受注確保に努めている。
- ・コロナ禍でのまん延防止政策の影響などにより来客数に波はあるが、昨年同時期と比較すると徐々に回復傾向にある。

**(4) 不動産業 景況感 【 △13P <やや悪い> ↘ 】 (前期比 34P)**

前期と比べ売上額【△13P】、収益【0P】、資金繰り【0P】が、それぞれ27P、26P、13Pと大幅に改善しました。

☆事業者の主な声☆

- ・不動産プロジェクトの販売により大幅増加となった。主力の賃貸収入は入居者に変化なく、計画通りの売上げ計上を予定している。
- ・売上は回復傾向にあるが、緊急事態宣言解除後も顧客の問い合わせや内覧件数もわずかにしか増加しておらず、今後も新型コロナウイルス感染症の影響が続くとみられる。

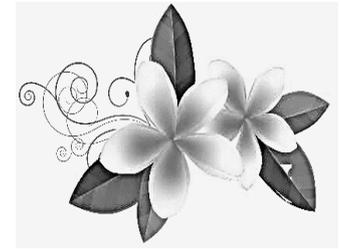
**(5) サービス業 景況感 【 △34P <悪い> ↓ 】 (前期比 23P)**

前期と比べ売上額【△16P】、収益【△36P】が、それぞれ32P、12P改善しましたが、先行きに対して厳しい見方が続き、次期は悪化する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・昨年は、緊急事態宣言発令の影響により来客数が減少し、売上が大幅に減少したが、昨年12月から始めたテイクアウト・デリバリーの需要が増大したことで、今期は前期と比較して大幅に増加した。
- ・まん延防止措置に係る酒類提供自粛により、昨年同時期以上の落ち込みとなっている。テイクアウト等も行っているが、伸び悩んでいる。協力金等により何とか事業を続けている状況。宴会が普通に行えるようになるまで、本格回復は難しい。

DI 値 調査結果



前・・・前期 令和3年1月～3月の景況感（調査時点 令和3年3月1日）  
 今・・・今期 令和3年4月～6月の景況感（調査時点 令和3年6月1日）  
 次・・・次期 令和3年7月～9月の景況感（調査時点 令和3年6月1日）

業種別調査企業数(回 業種別調査企業数 (回答数)

(単位：社)

	全業種	製造業	建設業	卸・小売業	不動産業	サービス業
前期	171	36	34	49	15	37
今期	173	37	32	53	15	36
次期	173	37	32	53	15	36

(単位：ポイント)

業種 項目	全業種			製造業			建設業			卸・小売業			不動産業			サービス業		
	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次
景況	景況全般について総合的な概況をお聞きました。																	
良い(A)	13	21	16	17	19	14	12	19	25	18	23	17	0	20	0	8	22	14
変わらず	38	34	49	36	38	64	50	34	34	35	35	51	53	47	80	27	22	33
悪い(B)	49	45	35	47	43	22	38	47	41	47	42	32	47	33	20	65	56	53
DI値(A)-(B)	△36	△24	△19	△30	△24	△8	△26	△28	△16	△29	△19	△15	△47	△13	△20	△57	△34	△39
今-前 / 次-今	12	5		6	16		△2	12		10	4		34	△7		23	△5	
売上額	製造業については、生産品を出荷した額をお聞きました。																	
好転(A)	16	23	16	19	19	14	15	13	16	20	28	17	7	20	13	11	31	19
変わらず	34	33	49	37	38	64	35	40	50	33	29	47	46	47	67	30	22	28
悪化(B)	50	44	35	44	43	22	50	47	34	47	43	36	47	33	20	59	47	53
DI値(A)-(B)	△34	△21	△19	△25	△24	△8	△35	△34	△18	△27	△15	△19	△40	△13	△7	△48	△16	△34
今-前 / 次-今	13	2		1	16		1	16		12	△4		27	6		32	△18	
収益	売上から経費を引いた収益状況をお聞きました。																	
増加(A)	15	16	12	14	11	5	18	9	19	18	21	13	7	27	13	11	17	11
変わらず	39	41	52	44	43	65	35	50	50	41	37	53	60	46	60	30	30	36
減少(B)	46	43	36	42	46	30	47	41	31	41	42	34	33	27	27	59	53	53
DI値(A)-(B)	△31	△27	△24	△28	△35	△25	△29	△32	△12	△23	△21	△21	△26	0	△14	△48	△36	△42
今-前 / 次-今	4	3		△7	10		△3	20		2	0		26	△14		12	△6	
雇用人員	需要に対応できる労働状況をお聞きました。																	
多い(A)	9	6	5	17	11	11	9	3	0	6	4	4	0	0	0	8	8	6
適正	67	69	69	55	62	57	59	63	59	72	77	77	87	80	87	73	64	72
少ない(B)	24	25	26	28	27	32	32	34	41	22	19	19	13	20	13	19	28	22
DI値(A)-(B)	△15	△19	△21	△11	△16	△21	△23	△31	△41	△16	△15	△15	△13	△20	△13	△11	△20	△16
今-前 / 次-今	△4	△2		△5	△5		△8	△10		1	0		△7	7		△9	4	
資金繰り	資金繰りが上手く行っているかを判断するためお聞きました。																	
余裕がある(A)	13	10	8	11	11	11	12	3	3	18	15	9	7	13	7	14	8	6
支障がない	59	67	67	64	70	70	62	69	69	55	66	68	73	74	80	48	61	58
苦しい(B)	28	23	25	25	19	19	26	28	28	27	19	23	20	13	13	38	31	36
DI値(A)-(B)	△15	△13	△17	△14	△8	△8	△14	△25	△25	△9	△4	△14	△13	0	△6	△24	△23	△30
今-前 / 次-今	2	△4		6	0		△11	0		5	△10		13	△6		1	△7	

<参考> 昨年同期と現在の景況感比較(回答154社)

	企業数	今期構成比	(参考) 前期構成比
昨年と比べ「景況感」は良い(A)	32社	21%	13%
昨年と比べ「景況感」は変わらない、横ばい	61社	39%	35%
昨年と比べ「景況感」は悪い(B)	61社	40%	52%
DI値(A)-(B)		△19P	△39P

